

「新型コロナの怖さ・感染予防」 「コロナ対策マニュアル」

新型コロナウイルス感染症対策が始まって、1年半が経過しようとしています。学校では、保護者の皆さまの協力を得ながら、「新型コロナウイルス感染症予防対策」を徹底し、通常授業を続けています。

学校における「コロナ対策」については、文部科学省が「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」(「学校の新しい生活様式」)を、北海道教育委員会も具体的な方法などを示した通知を出しています。私たち学校は、これに沿って、教育活動を進めることとなります。ただし、通知などは基本的な内容を示しているため、各学校では、さまざまなケースを想定して対策を細かく決めていくこととなります。

そこで、北斗市校長会では、子どもたちが安心して学校に通えるように、保護者の皆さまが安心して子どもたちを送り出せるように、北斗市教育委員会の指導の下、各種通知を参考にして、「コロナ対策生活様式(ガイドライン) 北斗市版」を作成しています。

例えば、卒業式や入学式などの儀式的行事や修学旅行などの宿泊的行事の実施方法について、北斗市版ガイドラインと

してまとめるといふ具合です。「学校規模」や「小学校と中学校」「施設の状況」などで微調整も必要であることから、その都度、打ち合わせや会議を行い、共通理解を図って対応することになっています。このことにより、市内小中学校16校が足並みをそろえることができています。直接子どもたちの指導に当たる先生方も、迷いを少なくして、学習指導に専念できると考えています。

今も、「ウイルスを学校に持ち込まない」対応として、これまでの「感染症予防対策」と合わせて、給食の「黙食」なども徹底しているところです。



コロナ禍では給食の当番活動も自粛

今後、ワクチン接種が進んでも、この対策はまだまだ続くと思われれます。

子どもたちが「学校の新しい生活様式」を自然な形で身に付け、安心して学習に取り組めるよう、地域の感染状況を注視しながら、指導していきます。

(北斗市校長会 市渡小学校
校長 小野寺 幸恵)

文化団体協議会サークル紹介

●一般社団法人詩吟朗詠「錦城会」認可
北斗道場
道場長/総伝教授師範 井村 錦佑(セツ)
担当師範/大師範 竹内 錦鈴(和子)
場所/総合文化センター他

本会は、昭和53年に旧上磯町中野通にて発足しました。高齢化などの事情で会員は減少傾向にありますが、現在、総合文化センター、七重浜住民センター、久根別住民センターで和気あいあいと稽古を続けております。

「一吟徹心霊」いちぎんしんれいにてつす
「一曲能国興」いつきよくくにをこす
錦城流の精神を心に、北斗市の文化向上に微力ながら努力を惜しみません。

●北斗市太極拳協会
代表者/桐谷 優光
対象/年齢制限なし
活動日/毎月第一・第二・第三木曜日
午前9時30分～11時30分
月会費/1500円
場所/北斗市公民館

本会は、平成13年に旧大野町公民館で始まり、現在20周年を迎えました。太極拳は、からだ全体を使ってゆつくりとした動作で、バランス、体重移動、呼吸を整えて統一した動きで、前後進と左右へと変化を与えて体感を味わえるも

ので、足腰の強化と心身の安定に役立ち、老若男女どなたでも習得できる特徴があります。一度体験されると太極拳の魅力がわかると思います。

●日本棋院北斗支部(囲碁)
支部長/池田 司郎
活動日/月・木・金・土曜日
午後1時～6時
年会費/1000円
場所/北斗市公民館

日本棋院北斗支部では、普段の活動以外に、年間では1月と8月に支部の大会、その他の月は有志の大会を行っております。残念ながら去年と今年、コロナ禍のため、中止となりましたが、毎年3月には七飯町との交流戦、3年に一度、道南大会を行っています。

囲碁は、老若男女を問わず、天候に左右されず、いつも楽しめるのがメリットです。

.....
昨年から新型コロナウイルスの影響で思うような活動ができない状況が続いております。高齢者などへのワクチン接種が始まり、状況は少しずつ好転していくように感じられますが、引き続き感染拡大に注意しながら、皆さまとともにコロナ禍を乗り越えていきたいと思っております。

(北斗市文化団体協議会
事務局長 小野 育子)